

6.3 教育方法のあり方

進捗状況報告

【6.3.1 授業形態と授業方法の関係】

FD研修会を開き、授業でよく使用されるプレゼンテーション・ソフトウェアの長短所などの情報交換、討議などを行なう予定である。神学部には、講義形態のもの、また「基礎演習」（1・2年生）、「分野別演習」（3年生）、「特殊研究演習」（4年生）という演習形態のものがあるが、演習科目はそれぞれ履修者数が20名以下であり、少人数による授業が適切に運営されていると判断する。講義形態の科目についても、学部の性格上多人数クラスではない。

なお、マルチメディアを使用した授業について、PC（およびプロジェクタ）を利用する授業は、2008年度春学期で18科目、DVD、OHCなどの機器を利用する授業は17科目あり、利用頻度は高いといえる。

学内第三者評価

現職の教職者を授業に参加させることは有意義な試みとして評価できる。学生が少人数である点を利した教員と学生の交流密度の高い授業を目指しながら、一方で、マルチメディアを利用した授業運営をする必要性およびその成果について検証されることが望まれる。